

7/26

Sat 14:00 ~ 16:00

Miike Toshio

第11回
災害伝承
“語り継ぎ”
探究サロン
2025

特撮美術監督・ 三池敏夫が語る

【災害伝承 × 特撮】

ゲスト：三池 敏夫 さん

コーディネーター：山本 和宏 さん (THE RIGHT STUFF)

開催方法：会場とオンライン (ZOOM) (事後アーカイブあり)

主催：  阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター 会場：西館 1F ガイダンスルーム 1



地震発生時の状況の特撮で再現した映像作品『5:46の衝撃』より



1995.1.17 5:46に発生した阪神・淡路大震災……その瞬間を捉えた記録映像はない。「特撮」による再現映像作品『5:46の衝撃』が、伝承の一端を担っている。震災から30年、映像制作から23年の時を経た今、特撮美術監督として制作に参加した三池敏夫氏がその制作秘話を語る。あわせて三池氏の数々の「特撮」仕事実績も紹介する。「震災30年特別展示2025」特別企画として開催!

三池敏夫

Profile

1961年熊本県出身。1984年九州大学工学部卒業後、矢島信男特撮監督に師事。東映の戦隊シリーズ、メタルヒーロー、仮面ライダー等に携わったのち、1989年よりフリーで活躍。東宝のゴジラシリーズ、大映のガメラシリーズ、円谷プロのウルトラマンシリーズなどに特撮美術として参加。現在は株式会社特撮研究所(東京)に所属。
代表作：『ガメラ 大怪獣空中決戦』(1995)、『日本沈没』(2006)、『ウルトラマンサーガ』(2012)、『巨神兵東京に現わる』(2012)、『シン・ゴジラ』(2016)、『Fukushima 50』(2020)、『シン・仮面ライダー』(2023)、『新幹線大爆破』(2025)等。



『5:46の衝撃』 作品紹介

当センター開設の2002年より、展示の目玉コンテンツとして上映の映像作品。大地震が起きたその時、淡路島や神戸市、阪神間にどのような揺れが襲い、どんな破壊が起きたのかを描く。こうした現場を撮影した実際の記録映像は存在しないため、ミニチュア特撮の技術によって作られた。制作から20数年の時を経た今も、臨場感があり、克明な再現を達成し、現実起きた災害の伝承を担う。

監督：川北紘一 特撮美術監督：三池敏夫 2002年約7分
制作：株式会社トータルメディア開発研究所、株式会社東宝映像美術



※映像『5:46の衝撃』の催し参加事前の視聴をお勧めしますが、有料ゾーンでの上映となっております。見学には入館チケットが必要です。詳しくは人と防災未来センター公式HPでご確認ください。
<https://www.dri.ne.jp/>

参加無料

開催方法：会場とオンライン

事後アーカイブ配信の予定

定員：会場参加先着 50 名、オンライン参加：制限なし

参加方法:



フォームからお申し込みください。 <https://forms.gle/Xdms9J5xEea2K7Tz6>

6/17 10:00 より受付開始。締め切り：7/24 17:00 定員に至りましたら締切前に受付を終了。

会場参加は空きがあれば当日参加できます。アーカイブ視聴（公開から1カ月）も申込が必要です。

主催：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 協力：株式会社トータルメディア開発研究所、株式会社東宝映像美術、ほか
お問い合わせ：人と防災未来センター 事業部運営課 企画担当 email: event@hitobou.com

あらためて知る

30
YEARS
from
1995.1.17
阪神・淡路大震災

震災 30 年特別企画 2025

震災伝承の 30 年と 未来

これまで

これから

詳しい情報を公開！▶特設企画展サイト <https://hitobou.com/exhibition/30th/2025/>

2025. 4/26 土 - 11/3 月・祝

会場：人と防災未来センター 西館 2 階 防災未来ギャラリー (有料ゾーン)

